

## 兼用合フランジ仕様書 (K I F - 1 0)

1. **適用範囲** この仕様書は、JIS G 5527 で規定するフランジ形継手に接合される「兼用合フランジ」について規定する。

2. **引用規格** 次に掲げる規格は、この仕様書に引用されることによって、この仕様書の規定の一部を構成する。これらの規格は、その最新版を適用する。

JIS G 5502	球状黒鉛鋳鉄品
JIS G 5527	ダクタイル鋳鉄異形管
KIS A 172	電着塗装合金ボルト・ナット仕様書
JIS B 0203	管用テーパねじ

3. **接合形式及び呼び径** 兼用合フランジの接合形式は、JIS G 5527 に規定するフランジ形による。その呼び径は 75 または 100 とする。

4. **構造、材料及びその品質** 兼用合フランジの構造、材料及びその品質は、付図による。

5. **形状、寸法及びその許容差** 兼用合フランジの形状、寸法及びその許容差は、付図による。  
なお、ねじは、JIS B 0203 による。

6. **外 観** 兼用合フランジの外観は、次による。

6.1 塗装前の外観は、鑄ばり、鑄巣、ひび、著しいきず、その他の使用上有害な欠点があってはならない。

6.2 塗装後の仕上がり面は、塗り残し、塗りだまり、泡、膨れ、はがれ、異物の付着、著しい粘着、その他使用上の有害な欠点がなく、表面は滑らかで、寒暑によって異常を生じないものでなければならない。

7. **塗 装** 兼用合フランジの塗装は、KIS A 172 による。

8. **検 査** 兼用合フランジの検査は材料、形状、寸法、外観、表示について行い、その成績が 4. ～ 7. 及び 9. の規定に適合しなければならない。

9. **表 示** 兼用合フランジには、見やすい場所に、次の事項を鑄出し、打刻などで表示する。

- a) トの記号
- b) 水の記号
- c) 種類の記号 (D F)
- d) 刻印座
- e) 製造年 (西暦の下 2 けた)
- f) 製造業社名又はその略号
- g) 呼び径